

統計調査の民間開放の検討・評価に関する懇談会（第1回）議事概要

- 1 日時 平成19年6月18日（月）16時00分から17時50分
- 2 場所 総務省統計局 6階特別会議室
- 3 出席者
構成員：竹内啓座長、吉澤正座長代理、今泉典彦委員、大橋豊彦委員、高橋伸子委員、土屋隆裕委員、舟岡史雄委員
総務省：川崎茂統計局長、高橋正樹統計調査部長、田口和也総務課長、飯島信也調査企画課長
- 4 議題
 - (1) 懇談会の運営について
 - (2) 懇談会における検討事項及びスケジュール
 - (3) その他
- 5 配布資料
 - (1) 「統計調査の民間開放の検討・評価に関する懇談会」の開催について
 - (2) 「統計調査の民間開放の検討・評価に関する懇談会」運営要領（案）
 - (3) 統計局所管統計調査の民間開放に向けた検討の進め方について
 - (4) 懇談会における検討スケジュールについて参考
 - (1) 統計調査の民間開放に関する経緯
 - (2) 統計局所管指定統計に関する現状
 - (3) 規制改革・民間開放推進3か年計画（再改定）（抄）
 - (4) 総務省所管の指定統計調査の民間開放に向けての計画
 - (5) 公共サービス改革基本方針（改定）（抄）
 - (6) 「統計調査の民間開放・市場化テストに関する研究会」報告（概要）
 - (7) 統計調査の民間委託に係るガイドライン
 - (8) 所管指定統計調査の民間開放に向けた取組について
 - (9) 平成20年住宅・土地統計調査試験調査関係資料
 - (10) サービス産業動向調査（仮称）関係資料
 - (11) 平成19年度に実施する周期調査の取組状況について
 - (12) 科学技術研究調査の民間開放の実施に伴う実績評価について
- 6 議事の概要
 - (1) 開会、構成員及び総務省側出席者の紹介に引き続き、川崎統計局長から、懇談会開催に当たっての挨拶があった。
 - (2) 資料1に基づき、座長に竹内啓委員が選任された。

- (3) 懇談会の運営について、資料2のとおり了承され、座長代理に吉澤正委員が指名された。
- (4) 事務局から、資料3及び資料4に基づき、検討の進め方及び検討スケジュールについて説明が行われ、その後、意見交換が行われた。

各委員からの主な意見等は以下のとおり。

統計の正確性・信頼性等を確保することが最も重要。そのために民間事業者がよるべき基準・条件を明確化して示すことが不可欠。

適格な民間事業者を選別するという視点だけでなく、業務遂行能力のある民間事業者の増加という視点も重要。

統計調査の民間開放においては、国もそうだが地方公共団体・民間事業者といった関係者すべてが利益を享受できるような取組を進めなければならない。そのためには、これら関係者からの意見聴取も必要であろう。

国の統計調査を支えている統計調査員との関係に即した検討も重要である。第一線で実査を担っている調査員や統計協会・協議会の立場として民間開放に対してどのような考え方や意見を抱いているかを聴取することも有益。

民間開放に係る検討の過程においては、調査対象となる国民や統計利用者の視点に即した考え方や意見の聴取も重要。

住宅・土地統計調査試験調査や就業構造基本調査といった、すでに民間開放に係る取組がなされている調査については、調査対象への事後的なアンケートも必要ではないか。統計の質について官民比較できるような手法での調査が適切と考える。

今後、オンライン回収の導入等により調査手法が大きく変わることも考えられ、中長期的には、そういった点にも留意する必要。

懇談会のスケジュールは、当面、資料4に沿って進めていけばよいのではないかと。懇談会としての成果をどう取りまとめるか等といった今後の具体的な進め方はさらに検討していただきたい。

- (5) 次回は平成19年7月中～下旬に開催予定。

<文責：総務省統計局（速報のため、今後、修正の可能性あり）>
以上